都道府県 隊友会の活動

かけはし

些細な「かけ橋事業」を育てたい

「かいちょう～」。高田駐屯地創立記念日での雑踏の中、上越市危機管理課のY氏から大きな声で呼び止められ、以下の出来事を伺った。それは昨年上越市で行われた県総合防災訓練での出来事である。

参加した上越支部は、救援物資輸送車両の誘導、救援物資の仕分けや配分・配布作業を担任。周囲の音に負けぬ大きな声で車両を誘導し、100個近くの箱を開封して非常用糧食を取り出し、訓練参加者・見学に来た多くの市民に手際よく配布した。当日は大変暑い日で、訓練終了後はすぐにでも帰りたいところ、多数の段ボール等を丁寧に折り畳んで積みあげ、使用した場所を整理して解散した。後で点検に来た市職員が、綺麗に積み上げられた段ボールやゴミ一つない使用場所を見て「さすが自衛隊出身」と驚き、Y氏に報告した。嬉しそうに話すY氏を見ながら、どんな些細な活動でも自衛隊への評価を高め、かけ橋に繋がる活動となることを再認識した。

このほかにも、形は違うが、自衛隊と国民の間に入って一寸お手伝いした話をよく聞く。例えば、「電話をくれるといったのに、半年近くなるのに、くれないんだよね」という市民の苦情に接した会員が早速当該部隊に連絡する。ミスに気づいた部隊側のその後の対応に市民の機嫌も直ってむしろ喜んでもらったという話。自衛隊・駐屯地の組織が分からず連絡先の判断ができずに困っていた市民に、用件を確認しながら電話先を丁寧かつ具体的にアドバイスした話等々。きっとこのような「一寸したお手伝い」は数多くあるのだろう。ただ「かけ橋」とは意識せず。

「国民と自衛隊とのかけ橋」の重要性・意義は変わらないものの、自衛隊を取り巻く環境や国民意識の変化等は、質の見直しを求めているのかもしれない。「かけ橋」をうたい文句に終わらせないために、多くの会員が身近に取り組める「些細なかけ橋」を事業として育てることにも、もっと気を配ってゆきたい。

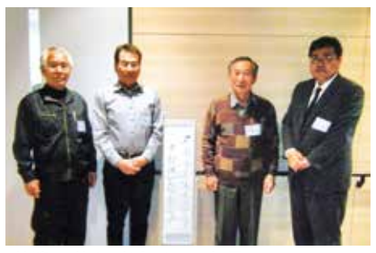
（北條雄一・新潟県隊友会会長）

広島県隊友会

広島市災害ボランティア本部運営訓練を研修

広島県隊友会（会長・寺尾憲治）は3月23日、広島市危機管理監を務める広島中支部丹波浩之事務局長の提言により広島市南区で実施された平成29年度内閣府主催事業である「広島市災害ボランティア本部運営ワークショップ」に見学者として4名が参加した。会場はJR広島駅前に新装オープンした高層ビル5階の広島市社会福祉協議会の施設で、あまりにも都会的な立地条件ではあったが、訓練参加者は3年前に発生した土砂災害の記憶も新たに、調整・情報・支援の各班に編成され、真剣に付与状況に取り組んでいた。次年度以降は、隊友会も隊友会広島市支部連合として本訓練に参加することとなるが、在隊間の指揮所演習等により培った経験を活かし、この種訓練に貢献していきたい。

（安佐支部長・石沢睦夫）


訓練研修に参加した会員

鹿児島県隊友会

支部長会議を開催 現職隊員との意見交換会を実施 戦没者墓地清掃及び慰霊祭に参加

鹿児島県隊友会（会長・村山文彦）は3月18日、鹿児島市民福祉プラザにおいて、本年度2回目の支部長会議を22個支部、理事役（女性部長等）を含む42名が参加して開催し、平成29年度の成果並びに平成30年度事業案を審議し了承された。事後の懇談では支部の現況について意見発表があり、新たに設立し活発に活動中の離島支部や、過疎地域で地元に戻ってくるOBも少なく、高齢化が進み支部活動も厳しい実情の説明や対策などが議論され、有意義な会議となった。

（事務局次長・後藤光一）

3月22日、海自鹿屋航空基地において「現職隊員との意見交換会」を実施した。県隊友会は会勢拡大を狙いとした「現職隊員との意見交換会」を毎年実施しており、平成29年度は、地本、国分駐屯地、川内駐屯地において順次実施してきた。村山会長等6名が、鹿屋基地からは各隊の担当者等45名が参加した。

（常務理事・児玉健一郎）

3月25日、平成30年鹿児島戦没者墓地慰霊祭が永吉公園の鹿児島戦没者墓地において、遺族・部隊長等の来賓、隊友会員約50名、総計約100名の参加を得て開催された。当日は朝から町内会と合同でまず清掃を実施して会場を美化し、慰霊祭開始前に明治150年を記念して、桜の苗木3本の植樹祭を行った。慰霊祭では、厳に慰霊の神事が執り行われ、会長をはじめ11個支部長等の玉串奉奠などが行われた。後段は、遺族等の挨拶の後、ミニ講話、献歌の歌唱があり、最後に協賛団体を代表して隊友会村山会長（頭揚会副会長）のお礼の挨拶で慰霊祭を終了した。（事務局次長）

各支部長による玉串奉奠

長野県隊友会

自衛官候補生入隊式で祝辞 駐屯地創設記念行事を共催

長野県隊友会（会長・牧幸生）は4月7日、松本駐屯地（司令・岩原傑1佐）において実施された「自衛官候補生入隊式」に出席した。来賓として出席した牧会長は、緊張した様子の自衛官候補生並びに彼らを見守る家族を前に祝辞を述べ候補生の新しい門出を祝福した。少し肌寒く感じる気候ではあったが、正に桜花爛漫、次代を担う若者たちにとって忘れられない一日になった。

21日、「松本駐屯地創設68周年記念行事」を共催した。会長以下多数の会員が出席して現職隊員を激励し祝賀行事を盛り上げた。

（事務局長・川上明彦）

入隊式で祝辞を述べる牧会長

東京都隊友会

新着任中隊長に隊友会を説明

東京都隊友会（会長・直海康寛）は4月17日、第1師団司令部で実施された「師団中隊長集合教育」の場において、直海会長自ら師団隷下の新着任中隊長24名に対し、隊友会の活動状況や入会状況、入会手続き等に関し約30分にわたり説明した。この事業は、会勢拡大施策の一環として、平成28年度から第1師団の意向で実現しており今回で4回目、各中隊長は最新の隊友会パンフレットを熱心に閲覧しながら、会長の説明に聞き入っていた。自衛隊への会勢拡大施策に関しては、駐屯地での都隊友会総会の開催や各級指揮官・先任曹長との意見交換会、任期制隊員の除隊式における講話実施の機会提供等について師団から積極的な支援や説明機会に配慮をいただいており、任期制隊員や陸曹の入会者数が増加しつつある。

（事務局長・松下孝雄）

新着任中隊長に説明する直海会長

群馬県隊友会

駐屯地記念行事でフラワーアレンジメントのお手伝い

群馬県隊友会女性部（部長・小野清恵）は4月13日、第12旅団・相馬原駐屯地記念行事の前日、来賓控室用のフラワーアレンジメントのお手伝いのため駐屯地に出向きました。お手伝いの依頼は去年に続いて2度目。女性部の華道師範の小山勝子さん、小澤晴野村ひさ子さん、小澤晴美さんの手際よい指示の下、会員とWACが協力して花瓶15個と桜の枝物の大作を仕上げました。生け花教室のような楽しい2時間があっという間に過ぎました。まさに第12旅団・相馬原駐屯地記念行事に花を添えられたと思っています。女性部と現職隊員のこのような機会が、今後の隊友会の発展の力になればと願っています。

（女性部長）

桜の枝物の大作を囲む女性部とWAC

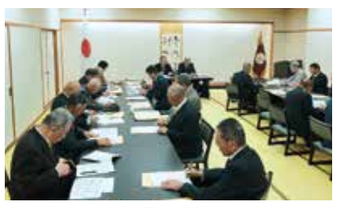
愛媛県隊友会

役員会・支部長会同を開催 隊友会入会に関する協力・支援を依頼 「松山春まつり」で恒例の花見

愛媛県隊友会（会長・瀬川紘一郎）は3月18日、平成29年度役員会・支部長会同を開催した。会議に先立ち、隊友会員の持つ特技を生かして欲しいとの願いから松山市シルバー人材センターの事業説明が行われた。続いて役員会では、本年度の活動のとりまとめ、新年度における活動の方針・計画・予算等の審議を行った。支部長会同では、財政基盤の充実に不可欠な会費徴収の改善、会員死亡時の対応等について周知が行われた。29日、松山駐屯地司令（内野敏紀1佐）以下16名の各級指揮官に対し、退職する自衛官の隊友会入会に向けての協力・支援をお願いした。お願いに当たり、昨秋の愛媛国体開催時の天皇皇后両陛下奉祝行列での隊友会員の活動の映像を披露して隊友会の目的、事業について説明を実施した。

1週間ばかり桜の盛りを逸した4月7日、松山城での「松山春まつり」に合わせて恒例の花見を実施した。当日は、雨が降り、或いは晴れ渡り、時に強烈な風が吹きすさぶ1日であったが会員等50名が参加し、遅咲きの桜、山上の「松山春まつり」を楽しんだが、気象の激変には敵わず早々の退散となった。愛媛の名峰石鎚山は、季節外れの雪化粧姿となっていた。

（事務局・白形洋）


役員会・支部長会同

旭川地方隊友会

定期総会と合同懇親会を開催

旭川地方隊友会（会長・椛村天臣）は4月8日、旭川市内のホテルにおいて、「平成30年度定期総会」を開催した。総会には8個支部から41名の会員が参加して新年度の事業等について審議した。その後、定期表彰において日頃の会活動に功績のあった会員23名に対して椛村会長から表彰状を授与するとともに、遠軽支部の活動にご支援・ご協力をいただいた丸瀬布自衛隊友の会会長の能正政寛様に感謝状を贈呈した。今回は役員改選もあったが、顧問、会長、副会長、事務局員の交代については全て事務局案のとおり承認を得た。引き続き、第2師団司令部及び旭川地本との連絡調整会同を実施し、師団司令部から師団の主要事業の説明があり、また地本募集課長及び援護課長からは募集環境・目標、就職援護状況等について説明と情報提供依頼等があった。

その後、道北自衛隊家族会との合同懇親会を開催。懇親会は第2師団長、管内各駐屯地司令、旭川駐屯地部隊長、旭川地本長を始めとする地本の幹部の方の参加を得て盛大に開催され、懇親を深めるとともに、隊友会・家族会及び部隊の更なる連携を誓い合った。

（事務局長・山口正幸）

定期総会

函館地方隊友会

定期総会と懇親会を開催

函館地方隊友会（会長・笹森時太郎）は4月14日、市内マリエール函館において平成30年度定期総会を開催し、新年度のスタートを切った。総会に先立ち会長から函館地方隊友会創設60周年記念行事への支援・協力への謝意と「実際に動ける体制づくり」、「会員のための会活動」について更なる努力をしていく旨の挨拶があった。会員の表彰後、議事に移り、提示された議案「終身会員の経費負担」について活発な質疑応答がなされた。

懇親会では、会長が「道南所在の陸海空各部隊と函館地本が、後顧の憂いなく安心して任務を遂行できる環境作りのため支援をしていく」と力強く挨拶した。その後、市長代理等の祝辞をいただき、海自函館基地隊水上司令の祝杯で開宴し、最後に恒例の「ああこの血潮」を大合唱して懇親会を終了した。

（事務局長・梅津正司）

懇親会での笹森会長挨拶

三重県隊友会

愛知・岐阜・三重県隊友会合同観桜会を開催

三重県隊友会（会長・三石浩夫）は3月31日、好天に恵まれた満開の桜のもと、伝統の愛知・岐阜・三重県隊友会合同観桜会を久居駐屯地内で開催した。参加者80名は、まず久居駐屯地の歴史資料館で久居駐屯地の歴史を研修。久居駐屯地は旧陸軍の駐屯地として1908年に開設された。終戦後に大蔵省管理となり、1952年に警察予備隊が入営、以後陸上自衛隊の駐屯地として使用されている。現在は第33普通科連隊等が置かれているが、旧陸軍でも「歩兵33聯隊」が駐屯しており、全国で唯一旧陸軍と同じ地に同一の部隊番号を持つ部隊が所在する駐屯地となっていること等を確認した。

懇親会は厚生センター内講堂で実施され、三重県特別会員でラジオパーソナリティ森遥香さんの名司会で進行された。まず担当の三重県三石会長が歓迎の挨拶「本日の快晴・満開の桜はすべて私のおかげです」で始まり、愛知・岐阜県会長挨拶、来賓代表の能勢連隊長・前野県会議員挨拶、そして懇談会食と続き3県の会員が交りあい懇親を深めた。準備した薩摩焼酎「隊友」も評判よく、皆さんに好評であった。最後に来年担当の木原愛知県会長の万歳で締め「また来年逢いましょう」と三重県隊友が拍手で見送り再会を約束し盛会裏に終了した。（総務担当理事・田中和章）

札幌地方隊友会

定期総会を開催

札幌地方隊友会（会長・若月寿一）は4月22日、ホテルライフォート札幌において、平成30年度定期総会を開催した。総会は、国歌斉唱の後、52名の物故者に黙祷を捧げ、鈴木清田支部長を議長に選出して議案審議に入った。議案の平成29年度事業報告、同決算報告及び監査報告、平成30年度事業計画（案）及び同予算（案）を審議し、それぞれが議決・承認され、引き続き感謝状贈呈及び表彰式を実施した。会長が、隊友会からの感謝状を島松駐屯地修親会（会長・大森丈義陸将補）様、北海道議会議員・大越農子様に贈呈し、表彰状を24名の会員に授与して懇親会に移行した。

懇親会には、衆議院議員、第11旅団長、札幌地本長、水交会会長、第11旅団友の会会長など多数の参加を頂き、会員を含む約110名の盛大な懇親会となって意見交換が行われ盛会裡に終了した。（事務局専従理事・和田典夫）

定期総会

謹んでご冥福を祈ります

正会員訃報

平成30年4月から5月までにご連絡いただいたご逝去者。（敬称略）

▽札幌、小林博人（75）▽帯広、中村正美（76）▽千歳、黒川清（78）▽宮城、佐々木守（85）・榊法習（89）・佐藤稔（97）・阿部喜久治（82）・末永考耶（86）・郷家英喜（89）・高橋栄志（92）・小山賢（88）▽秋田、佐々木良雄（87）▽福島、安田栄吉（84）・佐藤庄二（79）・菊地明彦（82）・阿部浩（86）・鈴木家佐男（89）・紺野正吉（73）・阿部定吉（88）・菅野照夫（88）・石川勝衛（81）・山田教一（67）・北浦悟（83）・渡辺哲夫（84）・平井巳三郎（88）・久木野進（81）・鵜木哲也（81）・馬目忠恕（88）▽群馬、市村三郎（88）▽埼玉、柴田幸彌（91）・小林健治（88）・下山昭一（82）▽東京、川上好明（87）・髙橋裕文（57）・小川義昭（90）▽神奈川、秋葉均（70）・安藤信雄（100）・衣笠昌（91）・小池弘（84）・小林誠一（91）・杉本金雄（89）・高田武人（90）・立石善倶（79）・藤岡友枝（76）・松倉真一（96）・金子利三（90）・佐能克己（75）・仲川良夫（80）・田坂忠彦（84）・簗瀬澄雄（92）・出原勲（75）▽長野、野田絃治（82）・北澤保恵（85）▽愛知、吉田仁志（60）・前川賢三郎（88）・林勇夫（83）・辻一誠（74）・高橋俊次（58）▽京都、秋山正春（87）・今井昭典（89）・太田喜代治（81）・大西彌壽夫（84）・川崎正男（82）・松本春次（91）・石川英夫（77）・高倉末広（84）・福埜黎三（86）・古川寛（81）▽島根、木田収蔵（87）▽広島、籠田純士（71）・田中昌平（76）▽徳島、海原稔（86）・加藤進（86）▽大分、三池明男（85）・井上富三郎（77）・浦山勝徑（83）

訂正：4月号▽大分、×神崎武夫→○神崎英夫

隊友会本部の活動（4月）

11日　洗心懇談会に参加（担当：東郷神社）

17日　陸自東方総監部人事担当者集合訓練で隊友会を説明

20日　4月定期便を県隊友会に発送

「平成30年度定時総会等の開催について」、「「平成30年度議決権の代理行使要領について」の一部修正について」、「平成29年度第4四半期正会員即日入会還付金等の送金について」、「全国執行役会における意見交換議題の事前検討について」、「平成30年度事業計画及び同収支予算について」等を発送。

25日　内部監査

平成29年度における（公社）隊友会の業務執行状況及び財産状況について監事による監査を受け、業務監査については「法令等及び事業計画に基づき、適正に運営されている」、会計監査については「計算書類等は隊友会の財産の状況を適正に表示されている」と認められた。

26日　本部会（5、12日常務会）

＜議題＞1定例理事会における議題及び報告事項（議題）第1号議案：執行役の推薦（案）、第2号議案：県隊友会長の推薦（案）、第3号議案：平成29年度事業報告（案）、第4号議案：平成29年度収支決算（案）、第5号議案：公益社団法人隊友会定款の一部変更（案）、第6号議案：役員改選（案）

（報告事項）平成30年度定時総会招集通知事項、平成30年度常務執行役の所掌分担

＜議題＞2平成30年度定時総会等時程表
＜議題＞3全国執行役会における討議の議題等
＜議題＞4平成30年度政策提言書作成の考え方
＜議題＞5県隊友会における駐屯地施設の利用
＜議題＞6平成30年度中央防衛セミナー
＜議題＞7平成30年度定時表彰等概要
＜議題＞8隊友会創立60周年記念行事の大綱（案）

＜報告事項＞①合衆国軍隊事故被害者救済融資事業の年度報告②自治体・自衛隊との協定締結状況及び資格取得登録状況　など

☆激励に対し帰国報告を兼てお礼状を拝受

第29次派遣海賊対処行動航空隊司令　臼井洋太郎　2等海佐

☆激励に対しお礼状を拝受

第30次派遣海賊対処行動航空隊司令　佐野浩之　2等海佐

【隊友紙の発送予定日】

6月号は13日（水）、7月号は11日（水）に発送予定。

柏駅 徒歩5分
離婚・相続・不動産紛争・債務整理
交通事故・顧問業務等のことなら
今野・髙島法律事務所
弁護士　今野　遼
弁護士　髙島圭介
当事務所は、離婚・相続・債務整理・交通事故といった個人の方のお悩みから、顧問契約等の法人の方に対するリーガルサービスまで、幅広い法律問題に対処いたします。
法律に関することでお悩みの方は、ぜひお気軽に当事務所をご利用ください。もちろん、依頼者のプライバシーは厳守いたします。
●営業時間：9：30～18：00（夜間のご相談も受け付けております）
●無料相談会（毎週1回程度）実施中
法律に関わる問題でお悩みの方は、まずはお電話・ホームページからお問い合わせください。
〒277-0025
千葉県柏市千代田1-2-51 エスティビル3階
Tel:04-7196-7656　Fax:04-7196-7658
HPアドレス：http://ti-law.jp